



大切なのは、ひと、自然、平和

まつざき

大野城市議会議員

松崎 ゆり子



松崎ゆり子後援会(ゆりネット)

メール:yuri1955@csf.ne.jp

TEL:080-5283-7037

議会 便り

2016年 初夏号 Vol. 4



10月から子ども医療費の助成が拡大します

ひとり親家庭への支援が充実します

熊本地震において被災された方々に心からお見舞い申し上げます。地震のため過酷な避難生活を強いられている皆さまに、一日でも早く日常の生活が戻りますようにお祈り申し上げます。

今回の地震は、北東・南西の両方向への広がりを見せています。北東には伊方、南西には川内原発があります。川内原発は稼働を続け、伊方原発と、大野城市西 60 キロの玄海原発も再稼働を急いでいます。

チェルノブイリから30年・福島から5年を迎え、人間と原発は共存できないことが明らかです。日本は、地震と火山の列島で、自然災害を避けられない条件下に存在しています。私たちと子どもたちの安心・安全な暮らしには、何よりも、原発の廃止、そして戦争法の廃止が切実ではないでしょうか。

民主主義と女性が参政権と人権を得たのも戦後、憲法と共にあります。選挙では、安倍政権に歯止めをかけ、憲法の理想の下に、税金が福祉や教育に使われるよう一票をしっかりと行使しましょう。 松崎ゆり子

### 3月定例議会 (2月23日～3月18日) 条例18件、新年度予算案などを審議しました

#### 341億3900万円の当初予算が成立しました。子ども・子育て支援が充実します！

- ① **子ども医療費の助成**が10月より拡大します！(5425.7万円)
  - ・3歳未満(入院、通院費とも無料)
  - ・通院費：小学6年生までに！(3歳～就学前600円/月、小学生1200円/月)
  - ・入院費：中学3年生までに！(3歳～中学生500円/日【上限3500円/月】)
- ② **学童保育**が6年生までに拡大します！(1億6684.8万円)
- ③ **保育料**：市県民税による算定区分が8から13に細分化され、新分割該当の方は減額になります
- ④ 平野中空調整備、大野中学校校舎大規模改造(3億4790万円)
- ⑤ **中学校ランチ給食サービス**：300円を250円へ。就学援助が適用！(2081.5万円)
- ⑥ **算数セット**：学校で使うものは公費購入し学校に配置されます！(233.7万円)
- ⑦ **不登校支援**が拡大します！(スクールソーシャルワーカーなど増員1551.8万円)
- ⑧ **通級指導教室**が就学前児童と中学生も対象になります(1139.6万円)
- ⑨ **ひとり親家庭の日常生活支援事業**(家事・保育)が使いやすくなります！(98万円)



## 全ての子どもの健やかな成長のために

### 1.ひとり親家庭の支援の充実を

**ゆり子** ひとり親家庭の96%は母子家庭。子どもの貧困防止には親の安定した雇用が重要。ひとり親を市関係職員へ優先雇用してはどうか。

**総務部長** 正規職員は地方公務員法の定めから難しい。今後、他の自治体での採用事例などあれば研究していきたい。嘱託職員等は任用期間に制限があり安定雇用にはつながらないがステップにはなる。

**ゆり子** ひとり親家庭への日常生活支援事業は就労や病気の時などの生命線。利用拡大の改善策は。

**こども部長** 日常生活支援事業は、就職活動や残業、疾病など一時的に生活援助や保育など支援が必要な場合、家庭生活支援員を派遣するもの。昨年度の利用は4名156時間。来年度からは定期的利用を可能にするなど条件の緩和を行う。

**ゆり子** 母子家庭等高等職業訓練促進給付金は。

**こども部長** 看護師や保育士、介護福祉士などの就職に有利な資格を取得するために、養成機関で2年以上修業している場合、市町村民税課税世帯は月額7万500円、非課税世帯の場合は月額10万円の訓練促進費を支給する事業。平成26年度は5名、平成27年度は3名の実績である。

#### ゆり子の提言

①高等職業訓練促進給付金と、②日常生活支援事業を使って、ひとり親家庭の生活を立て直しましょう！ 専任支援員が必要です！

高等職業訓練促進給付金は、専門的な技術と資格を習得し、就労・自立への効果を実証されています(他の就労支援は非効果的)。本年度から3年間に拡大します！保育士、介護福祉士不足対策にも、本制度の活用が期待されます。

日常生活支援事業は、父子家庭も含めて生活の安定と子どものために大いに活用してほしいです。

問題は、制度が知られていないこと、当事者が生活に追われ相談の余裕がないことです。専任の支援相談員において、強力な広報と、訪問や電話などアウトリーチ型の相談や情報提供が求められます(赤ちゃん訪問参考)。一時期の強力な支援(投資)は、親子の自立につながり、扶助費を減らし税収につながり十分なリターンが実証されています。

### 2.赤ちゃん訪問、乳幼児健診は

**ゆり子** こんにちは赤ちゃん訪問事業の実施状況は  
**こども部長** 生後4カ月までの赤ちゃんがいる全ての家庭を対象に、助産師などが訪問し育児に対する不安や悩みを聞き、情報提供等を行っている。

平成26年度の訪問対象家庭数は1,121件で、訪問した件数は1,108件(未訪問は13件)。内428件、全訪問家庭の38.6%は継続支援を実施。

**ゆり子** 乳幼児健診の実施状況については

**こども部長** 4カ月児健診、10カ月児健診、1歳6カ月児健診、3歳児健診の4種類を実施。最近では子どもの虐待の予防や早期発見の機会としても重視をされる大切な地域サービスである。

**ゆり子** 未受診の場合のフォローアップは

**こども部長** 保健師による電話連絡や家庭訪問を繰り返し行い、子どもの健康状態や養育環境の把握、保護者への育児支援等につながったものがほとんど。確認できない場合は、大野城市要保護児童対策地域協議会へ報告し安否確認を行っている。

#### 非婚の母への「みなし寡婦控除」が実施！

今年度から大野城市では、13項目について「みなし寡婦控除」を実施。結婚歴のないひとり親の場合、年収200万円で保育料だけで年間23万円の負担増が改善します！(根本的には税法の改正が必要)

比例区では憲法を力に闘う 福島みずほさん、  
選挙区では筑豊で高校教師35年、  
子どもたちによりそう 竹内のぶあきさんを  
国会に送りたいものです

